



校長室から

校長 横田 宏之



新年明けましておめでとうございます。

平成 29 年(西暦 2017 年)は、いわゆる十二支でいうところの「酉」年です。酉(とり)という漢字は、いわゆるニワトリを指していますから、皆さんの中にも年賀状に鶏の絵を飾った人が多かったと思います。でもなぜ、「酉」という漢字を用いるのでしょうか。調べてみました。今は便利ですね。インターネットですぐに検索できます。

「酉」の由来は、「果実が極限まで熟した状態、熟して気の漏れる状態」というもの。元々は動物とは無関係。十二支が作られた時に、漢字や音が似ている動物の漢字を当てはめたということが事実のようです。物事が頂点まで極まった状態ですから、習い事や勉強でよい成果が得られるという縁起がよい年のようです。神様への新年のあいさつがニワトリが 10 番目だったからというのは後からの作り話ですね。

つまり、今年は、皆さんが長年にわたって努力し、ため込んだ内在する力を外に向かって発揮する 1 年にせよということですね。溢れるばかりの才能を一気にアウトプットし、実りある 1 年にしましょう。

さて、「酉とは何だろう？」というほんの少しの疑問から、ちょっとインターネットで調べるとこれだけのことが分かってしまう便利な時代になりました。しかし、ここで注意が必要です。ネット検索で出てきた情報が本当に正しいかどうかは簡単には分かりません。少なくとも鵜呑みにはしないこと。また、ネットは道具として賢く利用するものであって、自分や他人の個人情報垂れ流しにするとところではありません。お気をつけください。

さて、私は今年、年男。酉年の特徴である、直感力と行動力に加え、これまでの教員経験をフルに活用し、実りある 1 年にしたいです。

～1月から3月の主な行事予定～

- 1月10日：開講式
- 14日：大学入試センター試験(～15)
- 26日：3年生学年末考査(～31)
- 2月13日：学年末考査(～16)
- 3月1日：第66回卒業証書授与式

進路状況中間報告 (12/13判明分まで)

3年生の進路状況を報告します。進学を希望している生徒については、主に推薦入試とAO入試の結果になります。

種別	合格人数	昨年同時期
四年制大学	58名	55名
短期大学	10名	20名
専門・各種学校	43名	47名
就職・公務員	8名	8名
就職・民間	69名	61名
合計	188名	191名

全体的には、昨年同時期と、ほぼ同じような進路決定状況です。就職については、今年も求人数が増加しました。近隣の事業所だけではなく、今まで来たことがない会社からの求人もありました。求人数の増加にともない、早めに希望を叶えた生徒が多かったようです。公務員では、昨年に引き続いて、鹿島市役所に合格した生徒もいました。

進学についても、ほぼ例年並みの数字が出ています。もちろん、大学進学はこれからが本番。1月の大学入試センター試験から3月の国公立後期入試まで、長くて短い受験の冬がもうすぐ始まります。自分の希望を叶えるため、全力を尽くして欲しいと思います。

紅葉の校庭でクラス対抗駅伝大会開催 (11/22)

前庭から银杏並木へ出てサッカーグラウンドを回る周回コースで、校内駅伝大会を実施しました。クラス対抗ですから、学年に関係なく、ゴールを競います。写真では1年生が先頭です。でも、最終的には、男女ともに、2年生が優勝しました。その後、選手にならなかった生徒全員による競技が実施され、全校生徒が秋の校庭を走りました。



卒業生によると、以前は市内(当時は「町内」?)を走るコースで実施され、沿道から大きな声援をいただきながら走った、とか。今は交通事情でそれは許されないのでしょうか。ともあれ、さわやかな秋の駅伝大会でした。

放課後⑮～「あいちゃん」は卓球が強い?～

愛ちゃん、言うまでもなく、福原愛。気がつく、石川佳純、伊藤美誠も「アイ=i」ちゃん(ややこじつけ?)。そして、我が校にも「アイ=i」ちゃん(個人情報保護の観点から特に姓名は伏す)。強い。時々負ける。負けるけれど、負けるたびに強くなる。強い相手と戦って、負ける。でも、次はもっと強くなって、勝つ。一人が強くなれば、その仲間も強くなる。同じように、負けて、強くなる。正しく負けることが強くなる秘訣ではなかろうか、などと思う。さて、本校の「i」ちゃん、1月には**全日本ジュニア**を戦います。

目指すはもちろん、TOKYO 2020。

鹿苑今昔⑯～神も仏も～

「神仏に祈願し」と言う。つまり「神も仏も」神様である。鹿島高校は鹿島神宮への参道に隣接しているわけだが、実は近くに、他の神社仏閣も散見できる。**鎌足神社**。なんと、中臣鎌足生誕の地は鹿島とか。「〇〇の〇〇」ですよ!

右は**根本寺**。芭蕉が『鹿島紀行』の旅で訪れている。境内には句碑も建つ。例えば LHR の時間、日本史の授業、古典の授業。生きた教材がここにある。



～29年度入学者選抜日程～

高校入試が間もなく始まります。受験予定の皆さんや、そのご家族の方々にとっては、緊張の日々が続くことでしょう。体調に十分留意して、最後の瞬間まで、学習を続けて欲しいと思います。その学習は、受験のためだけではなく、その後の「学び」の世界へもつながるものはずですから。

- 2月10日：一般入学出願期間(～14)
- 20日：志願先変更(～21)
- 3月3日：一般入学学力検査
- 6日：特色選抜面接
- 13日：合格発表(9:00)

鹿高なう～冬の記録～

ソフトテニス部：女子団体 新人県大会ベスト4
：男子団体 新人県大会ベスト8
陸上部：2年男子 1500m 関東大会 第5位
：3年男子 1500m

日本ジュニア室内 出場(2月)
卓球部：1年女子
全日本卓球選手権大会 出場(1月)
東京卓球選手権大会 出場(3月)
将棋部：1年女子2名
全国高文連新人大会 出場(2月)
吹奏楽部：茨城県選抜オーディション3名合格
全国総文祭 2017 への参加決定

地域合同防災訓練実施 (11/9)

今年も地域の皆さんと一緒に、防災訓練を実施しました。訓練とは言え、こうして前庭に避難してみると、2011年の3月を思い出します。



あの日も、よく晴れた寒い午後でした。この前庭で震えただけで済んだこと、今思えば幸運でした。備えは忘れてはいけません。

編集後記：あけましておめでとうございます。**カワセミ**です。亀の池に舞い降りたカワセミです。ギリシア神話には、夫を海難事故で失った女性が、死んだ夫と共にカワセミへと姿を変え、つがいとなって仲良く暮らし続けたという話があります。その後の亀の消息は杳として知れませんが、代わりに舞い降りたかのようなカワセミの姿は、気高く美しく輝いていました。『鹿苑だより』、今年もよろしくお祈りします。



茨城県立鹿島高等学校 学校だより

『鹿苑だより』第25号(隔月刊)
発行：茨城県立鹿島高等学校
校長：横田 宏之
編集：広報委員会
中沢雅彦 山崎律子